

独立行政法人造幣局さいたま支局見学

2025 年 6 月 20 日造幣局さいたま支局にて



見学の前に“信頼と挑戦”と題するビデオを視聴、私たちは2グループに分かれて見学。見学時間は、造幣局館（工場）、博物館で合わせて90分でした。

ガイドさんの説明を聞きながら工場での工程をガラス越しから見学、人は少なくみえましたが、裏には100人ぐらいの人が働いているとのことでした。

工場では今製造している貨幣は500円玉から1円玉まで6種類、通常貨幣のほか、大きな行事を記念して発行される記念貨幣、メダル、勲章、褒章などが製造されていました。こういった製造工程は国の信用そのものであって、より高度な技術は、世界のトップクラスとのことでした。一つ一つ丁寧に また厳しくチェックされているそうです。勲章、褒章は、熟練した職員が細心の注意を払って製造していますとのことでした。

わが国初の記念貨幣は、オリンピック東京大会を記念して昭和39年（1964年）に発行されました。また、東日本大震災復興事業記念貨幣など、博物館には大判、小判など古銭、明治以降の日本の貨幣のほか、記念貨幣、勲章、褒章やオリンピック入賞メダルなど、きれいで貴重な展示物が数多く展示されていました。すごく堂々と立派な国民栄誉賞の楯も展示されてありました。

90分という限られた時間でゆっくりは見ることはできませんでしたが、日を改めて、個人で来てゆっくりと見学するにはお勧めです。

体験コーナーでは、貨幣袋や千両箱を実際に持って体験することができます。また、おみやげコーナーもあります。平成28年10月に豊島区から現在のさいたま市大宮に移転、現在は団体や個人での見学者が増えたようです。